

学校法人 啓明学院

啓明学院中学校・高等学校

2020年度「学校評価アンケート」調査報告

## 調査概要

調査主体：啓明学院中学校・高等学校

調査名：「啓明学院中学校・高等学校 学校評価」

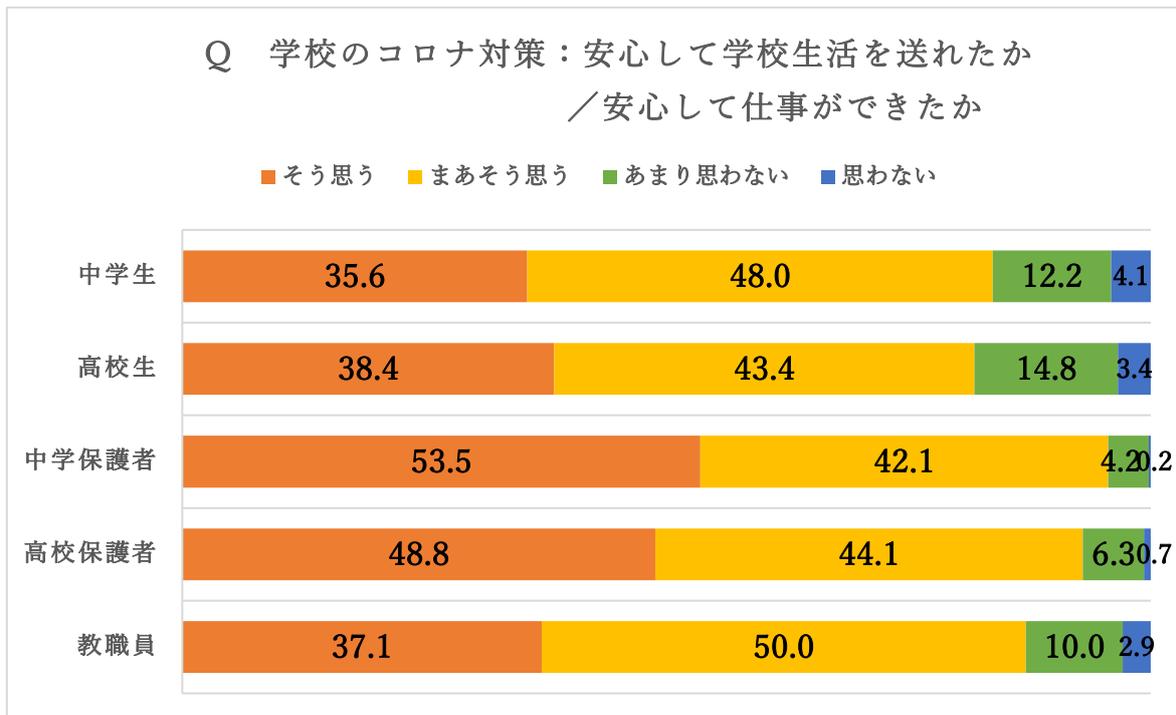
調査対象者：2020年度在校生・保護者・教職員

調査方法：WEB調査

調査実施期間：2021年2月15日～3月9日

有効回収率：中学生=98.8%・高校生=97.3%・中学保護者=87.0%・高校保護者=71.2%・教職員 95.9%

## 調査結果（抜粋）



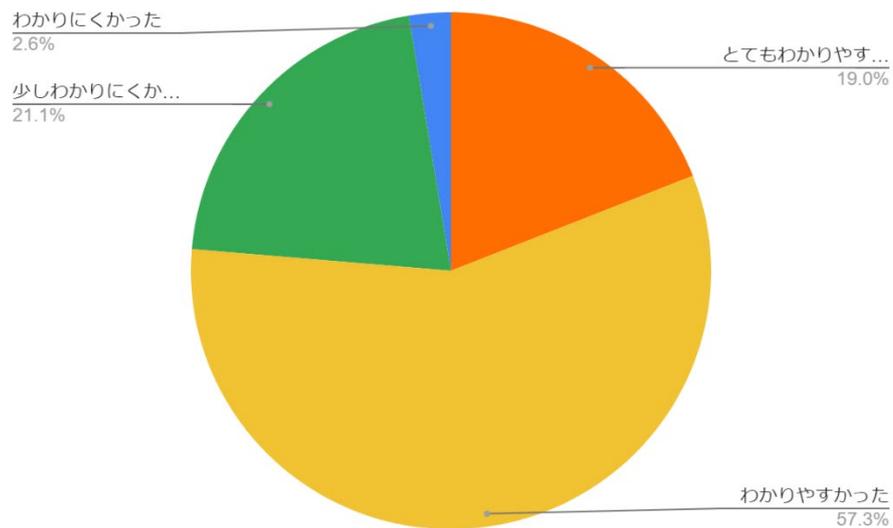
Q オンライン授業があったこと／行ったこと

- とてもよかった
- よかった
- あまりよくなかった
- よくなかった
- 行っていないのでわからない



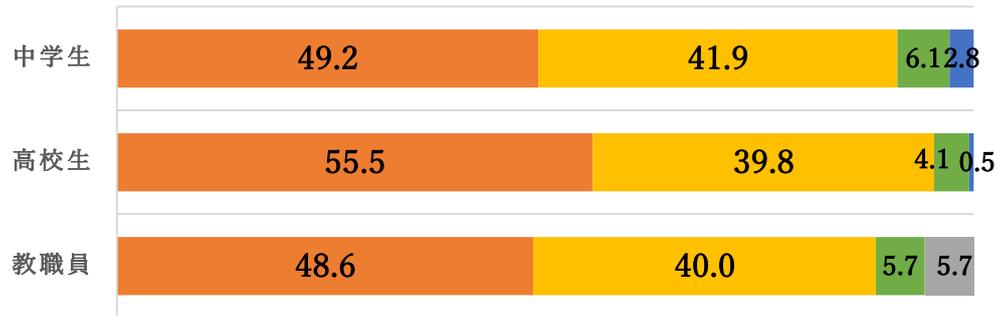
Q オンライン授業はわかりやすかったか

高校生



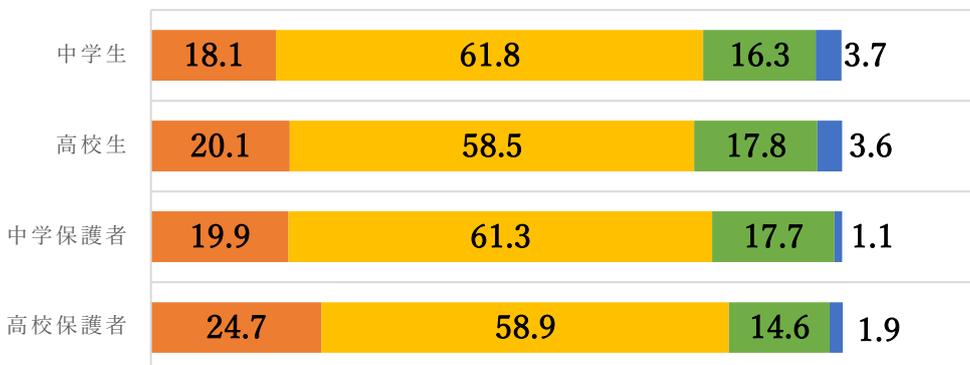
### Q タブレット端末を使ったこと

- とてもよかった      ■ よかった
- あまりよくなかった      ■ よくなかった
- 行っていないのでわからない



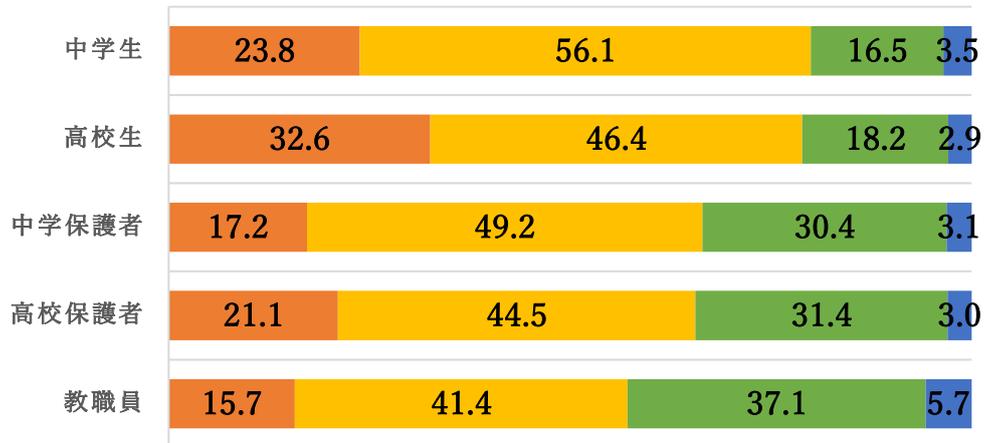
### Q 生徒と教員はコミュニケーションがとれているか

- よくとれている      ■ とれている      ■ あまりとれていない      ■ とれていない



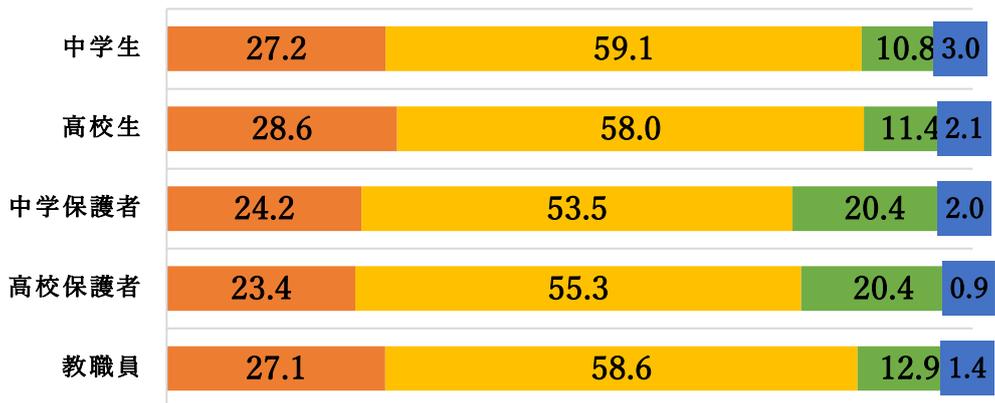
### Q 学校生活 自主的に活動する時間

■ 十分あった ■ あった ■ あまりなかった ■ なかった



### Q 学校生活 学習する時間

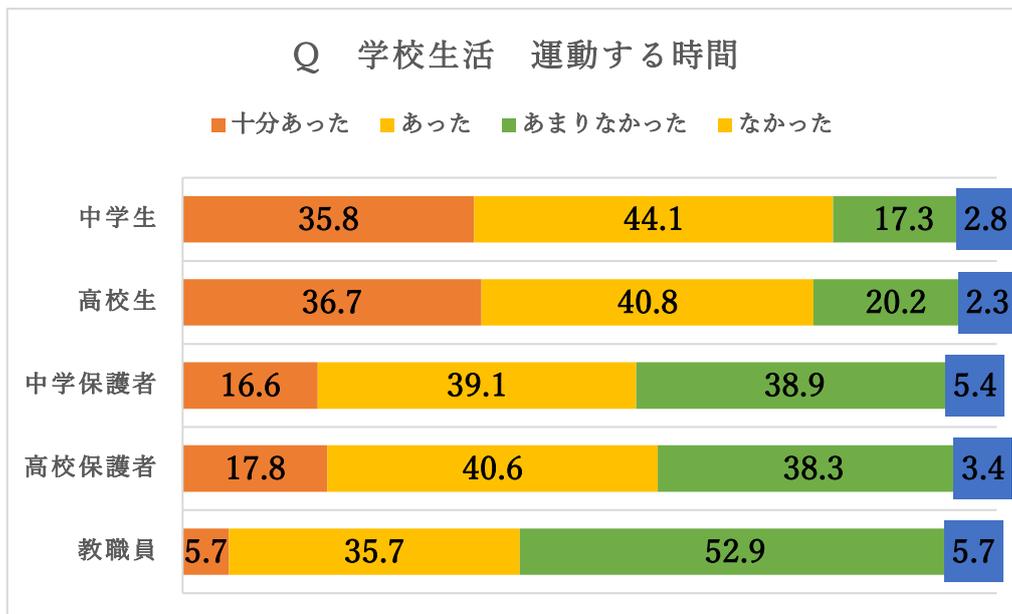
■ 十分あった ■ あった ■ あまりなかった ■ なかった



### Q 学校生活 読書する時間

■ 十分あった ■ あった ■ あまりなかった ■ なかった





## 総 評

今年度の4月・5月は新型コロナウイルス感染拡大のため休校となった。これに対応するためICT環境の整備計画を前倒し実施し、タブレット端末を活用したビデオ配信授業やオンライン授業等を実施した。この間に感染防止対策を講じ、6月1日から分散登校を始め、15日より一斉登校とした。制約の多い学校生活であったが、生徒・教師はともに、できる限り普段どおりの学校生活を送ることができるよう努めた。

コロナ禍は長期間続いているが、多くの生徒が概ね安心して学校生活を送ることができたと回答し、ほとんどの保護者が学校の感染予防対策を評価している。コロナ感染が収束するまでは、兵庫県や教育委員会からの指示・通達に沿って最善の感染予防対策を継続する。

生徒は、教員とのコミュニケーションが概ねとれていると回答しており、教師は生徒への目配り・心配りを続け、生徒に寄り沿っていく。また、保護者（家庭）とのコミュニケーションもより一層とることができるよう工夫していく。

タブレット端末の利用やオンライン授業については、ほとんどの生徒が肯定的に捉えている。これからもICTの特性を活かした授業の工夫に取り組み、それを実現するインフラ整備を進めて、より良い教育環境を作っていく所存である。

さまざまな制限・制約がある中でも、学習・読書・運動の時間をつくろうとする姿勢が多くの生徒に見られる。本校が大切にしているチャレンジ精神を育む機会を、感染防止を第一に、工夫してできる限り継続していく。同時に、精神的に余裕をなくしている生徒にはしっかり対応していく。

今年度は、これまでとは大きく異なるコロナ禍での学校生活について調査を行った。収束の目処が立たない中、この調査結果を参考に、本校の建学の精神に則った教育を継続していく。